

**ユニオンに加入を希望される方**  
下記アドレスに「氏名・所属」をメールください。  
後ほど担当支部から連絡させていただきます。  
[k-union@alpha.ocn.ne.jp](mailto:k-union@alpha.ocn.ne.jp)

# 全国各支部で局長交渉実施 増員要求を放棄したような地整当局

## 処遇改善には努力表明も

ユニオンの各支部では昨年12月から今年2月にかけて局長交渉を実施しています。今号では各支部で行われた交渉の概要を報告します。特に次の4点の項目について各地整  
①業務執行と増員 ②再任用 ③管理職特動手当 ④処遇改善関係

### 3・11は適切に 整理 東北支部

東北支部は1月27日に実施しました。

①要員の確保については、整備局としていろいろ工夫して業務執行の一層の簡素・合理化を図るとともに、今後とも必要な要員の確保に、努力しなければならぬという考えに変わりはなく、引き続き、一人でも多くという気持ちで、整備局の業務の実態・必要性・厳しい定員事情等を十分説明するなど、適切に対処していく。

②平成28年度再任用の条件は検討中だ。  
③平成23年3月11日当時、職場が混乱を極めていたが、23年3月の整理は、整理簿、出勤簿など確認できる資料を見る限り、適切

な整理が行われたかと思っ  
ている。事務所毎に判断基準  
が違うので、扱いが異なる  
ことはありうると思う。事  
務所長の判断である。人規  
についての適切な運用に  
ついて指導していく。

④職員の処遇については、  
大変重要な課題と認識して  
いる。相手のあることで  
はあるが、皆さんの要望を  
念頭において、全体として  
良くしていくという気持ち  
で努力していく。

### 増員に最大限努力 北陸支部

#### 北陸支部

北陸支部は12月16日に実施しました。

①増員に最大限努力してい  
く。(電子決済について)  
職場に周知した後意見を聞  
いて検討している。基本的  
には今まで紙と電子があっ  
たのだが、印を押すことを  
電子でやることを基本にや  
っていくということだ。  
②希望を聞きながら人事作  
業の中で、業務上の必要性  
や定員状況、若手職員の確  
保の必要性など総合的に勘  
案しながら検討していく。  
勤務形態については今の段  
階では決まっていない。  
③本省からは手当の運用に  
関する統一性の確保があっ  
て本省に相談することにな  
っている。  
管特勤に係わるこの間の議  
論は私も承知している。先

### 処遇は働く上 で重要なこと 中部支部

①出張所が重要なという認  
識は同じだ。要員確保に工  
夫して努めたい。  
②地理と地整は同じ事情で

中部支部は1月27日に実  
施しました。

は、結論が出ていない。可能性を検討しては、フルタイムを除いては、決めるには考えていない。「何とかしなければいけない」ともが苦しんでいる。本日は状況をお聞かせ頂いた。十分に受け止め、いろいろな事を検討していく。  
④処遇改善は重要な課題。級別定数の制約はあるが、出来るところを色々と考えてやって行きたい。人事院にも機会を捉えて話していきたい。

#### 交渉の様子(中部支部)



交渉に臨む 上談：ユニオン中部支部 下談：中部地整当局

# 誇りを持てる職場 づくりを 近畿支部

近畿支部は2月3日に実施しました

①要員の実態は認識している。近畿の実態を説明し努力してきた。管理職特勤の話も、ご苦労されていることも十分認識した。

②閣議決定については承知している。但し書きでは職員の年齢構成等の適正化を図るためフルタイムが困難な場合は短時間勤務も可能とされている。再任用については勤務形態や定員等勘案し、週四日勤務を基本と決定させて頂いたところ。四四年の特例は今も生きていくという認識はある。

③非常にご苦労いただいている。手当の支払いの運用をどうするかは本省、人事院と相談した上で支払うことが出来ないという結論になった。

④局長の指導のもと、労使関係の維持発展に努めて参りたい。処遇改善は十分と思っていない、できる限りの努力をしていきたい。要員確保は本省に説明してきた、今後とも一層努力していく。

# 管理職6級昇格 承った 中国支部

中国支部は2月5日に実施しました

②平成25年3月の閣議決定を踏まえ、面接により再任用希望者の希望を伺ったところ。定員事情、人員構成や業務の必要性等から総合的に判断した結果だ。

④（管理職の6級昇格）話は承った。

# 昇格は組織にとって重要 四国支部

四国支部は1月28日に実施しました

①現在の整備局の業務は増える一方であり、組織人員が充分とは思っていない。（処遇が悪いという）認識に差があるとは思っていない。四国の実情を話して理解を得たいと思っている。

②再任用は希望、意向を聞き取り総合的に判断して週4日と3日になった。フルタイムだと定数に入る。四国の考え方は能力、過去の経験等を評価して格付けしている。四国の再任用の数としては40、45人。業務上の分担、役割を考えている。原則週4日。

③真にやむを得ないものが対象と考えている。災害は平日深夜で有り、きわめて短い時間は考えられない。人事院に要求してやっと新設された手当。支給しよつという姿勢で対応すべく。

④50代後半が厳しいのは承知している。昇格については、級別定数の確保、切り上げに努力する。昇格は組織にとって重要と考えているので全体として良くするように努力する。

# 災害対応などへの評価は変わる 九州支部

九州支部は2月10日に実施しました

①災害対応等厳しい条件のなか対応いただき感謝している。反省する点もあったと思う。局・事務所・出張所の連携が重要。災害対応・リエゾン派遣などにおいて、本末転倒の対応となつてはいけない。今回は不慣れた雪への対応であり長引いた事もあり通常の道路のやり方を踏襲したためたため、うまくいかなかった場面もあった。色々な場面でアンテナを張って情報を得たい。

②今回は、行（一）について3日と4日の内定通知を行っている。職員の年齢構成では若年層が極端に少なくなっている。定員管理上

の問題。何年たつたら解消できるかは分からない。職務内容によって定員合理化計画は変わってくる。国交省に対する災害対応などへの評価は変わってきている。一つ一つの積み重ね、組織の必要性を伝える。そのことで定員削減の考えを変えていく。

③再任用者には経験・能力を活かしていただきたい。フルタイム化には至っていないが3日を4日勤務にした。3c、4c等を実施してきた。来年に向けてまた取り組んでいく。

④今回の雪の対応では、1月に200弱の件数が来ていた。積極的に出す意向である。

④昇格については要件がある。総合判断であり、要件や級別の範囲内での対応については認識している。必要なら級別定数は全力挙げて取れるようにしていきたい。本省に伝えていく。5級未発令についても認識している。エース、年度に5級のまま退職された方もあり同様なことにならないようにしていきたい。



# 3/17 全国統一行動 ユニオンも結集！

2016年春闘の最大の山場となった3月17日は、前日の集中回答を踏まえ、全労連・国民春闘共同に結集する単産・単組は、全国各地でストライキをはじめとする「全国統一行動」を実施しました。

国公管ユニオンも国交労組と共同で早朝職場集会を取り組んだ支部もありま

集会の様子（近畿支部）



